

平成16年度 和歌山県文化功労賞

まつ い のり こ
松 井 紀 子 (作家名 まつい のりこ)

住 所：東京都三鷹市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和9年

■主な表彰歴等

昭和51年 ボローニャ世界児童図書展エルバ賞

昭和58年 第22回高橋五山賞

平成8年 ベトナム文化功労賞

平成12年 和歌山市文化功労賞

◎業績及び経歴

昭和29年和歌山大学学芸学部を卒業し、7年間の東京都内小学校勤務の後、武蔵野美術大学で絵を学び、卒業後作家活動に入る。

自分の子供のために制作した手作り絵本を出発点に、多くの絵本を出版。赤ちゃん絵本、物語り絵本、知識絵本と幅広く活躍。昭和51年には、ボローニャ世界児童図書展において、作品「ころころぼーん」でエルバ賞を受賞する。

また、紙芝居文化の発展に情熱を注ぎ、手作り紙芝居での試演を重ねながら、紙芝居の独自性を追求し、観客参加型紙芝居を確立した。昭和58年に、作品「おおきく おおきく おおきくなあれ」で第22回高橋五山賞を受賞する。

平成3年には、ユネスコ・アジア・文化センター主催の児童出版研修講座の講師を務め、ベトナムでの紙芝居の普及・支援をはじめ。平成8年には同国に紙芝居文化を根づかせた功績により、同国政府より文化関係で最も評価の高い「文化功労賞」を贈呈される。

本県においても、平成6年より和歌山県立図書館で、手作り紙芝居コンクール審査員や講師を務めるなど、本県の文化振興に寄与している。

絵本作品には「ちっちゃなちっちゃなおばけ」「あかちゃんのほん」「とけいのほん」「ととことととこ」等、紙芝居作品には「ごきげんのわるいコックさん」「おおきく おおきく おおきくなあれ」「みんなで ぼん!」「よいしょ よいしょ」等がある。